

# いずみさの教育



問合先  
学校教育課

## プログラミング教育について

2020年度には小学校において、2021年度には中学校において次期学習指導要領が完全実施されます。その中に「プログラミング的思考の育成」「プログラミング教育」が盛り込まれています。では、その「プログラミング教育」では何が求められているのでしょうか。

「プログラミング教育」とは、子どもたちに「コンピュータ」には、意図した処理を行うよう指示することができる」ということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」などを育むことといわれています。その中で、身の身近なところでコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くこと、各教科などで育まれる思考力を基盤としながらプログラミングの基礎を身に付けることなど、子どもたちにはコンピュータの動きを自分の生活に生かそうとする態度が

求められているのです。

そこで泉佐野市では、市内にある府立佐野工科高校と(株)アイテックの協力を得て、今年度から「プログラミング授業」について研究しています。子どもたちが、パソコンやタブレットを使い、プログラミングソフトでロボットの実際の動きをプログラミングし、自分が作ったプログラミングを転送してロボットを動かす授業です。6月に授業をした第三小学校では、子どもたちは自分の思うとおりにロボットを動かそうと、佐野工科高校の教員や生徒からヒントをもらいながら、楽しそうに何度もプログラミングし直す姿が見られました。

この学習を通して子どもたちが物事を論理的に考え行動する力を身に付け、よりよい社会、よりよい人生にするため、コンピュータを主体的に活用する姿勢を身に付けていくことが期待されています。



## 学校園紹介



### わくわく、どきどき、末広小 ～末広小学校～

末広小学校では、「わくわくする学校で、どきどきする未来を創る」を学校教育目標に定め、教育活動に取り組んでいます。児童数は409人です。学級数は、1・2・3・5年生が2学級、4・6年生が3学級、支援学級が6学級の、計20学級です。

特色ある教育活動として、下記の取組を行っています。

- ①問題解決的な学習の実施や、授業に対する姿勢を醸成する「末広小スタンダード」の設定、家庭学習推進週間の実施、異学年での学び合い活動、1時間目開始前の10分間「かがやきタイム」の活用などで、子ども主体の授業づくりを進めています。
- ②火・木・金曜日に15分間の英語学習を全学年で行い、外国の言語や文化についての理解を深め、対話力の強化を図っています。
- ③児童会活動の一環としてファミリー活動という異学年交流を行い、社会性の基礎を育み、人と関わる喜びを獲得する活動を、児童が主体的に企画しています。
- ④「セカンドステップ」学習を通じて、相手の気持ちを理解し、自分を律し、円滑な人間関係を結べる資質を育てています。
- ⑤「校内音楽会」や「地域の方々と交流会」などの行事で、友だちと協力する意識や他人を思いやる気持ち、発信しようとする姿勢を学んでいます。



⑥ボランティアによるお話の会や茶道体験で、情操を高めています。大学生のインターンシップ受け入れや、算数サポートの配置など、外部人材の活用にも力を入れています。

### 子どもたちのかがやく未来のために ～中央小学校～

本校では「豊かな心と確かな学力の育成」を教育目標に掲げ、教職員一同「チーム中央小」として、保護者のみなさん、地域のみなさんと力と心を合わせ、子どもたちを育てていきたいと考えています。

具体的な教育活動は次のような取組を行っています。

- ①子どもたちの学習意欲を高める取組
    - 教員の授業力向上（研究授業の充実）
    - 「考える」「伝える」を核とした授業づくり
    - 「家庭学習チャレンジウィーク」
  - ②中央小「三つの『あ』」
    - 「あ」んぜん 「あ」いさつ 「あ」いてのきもち（生命尊重）（絆尊重）（人権尊重）
  - ③人権教育について
    - 人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にできる意識・態度を育て、全ての子どもが大切にされる教育
  - ④生徒指導について
    - 子ども主体、子ども同士をつなぐ取組（授業・学校行事・学年行事・学校生活）
    - 子どもの言動の背景を知り、愛ある子どもとの関わり「いじめアンケート」「校内・校外巡視」「生徒指導記録」「ふわふわ言葉・集会(デー)」「子ども理解に関する校内研修」
  - ⑤望ましい集団活動が展開される児童会活動
    - 子どもの自主的・実践的な活動「あいさつ運動」「募金活動」「たてわり活動」「名人大会」「七夕集会」「1年生を迎える会」「卒業生を送る会」など
  - ⑥地域との連携
    - 地域のみなさんの通学路での交通見守り、あいさつ運動
    - PTA、連合こども会、福祉委員会(町会、民生児童委員など)、地域教育協議会と協働し、地域ぐるみでの子どもの育成
    - 地域行事や交流行事への参加
- 子どもたちは地域の宝です。これからも自分を愛し、家族を愛し、友達を愛し、人を愛し、そしてこの地域を愛する子どもを育てる学校でありたいと思っています。

